



自然資本の利用による心豊かな社会の創造

令和4年度における活動実績・成果の概要

- ① 東北大学を拠点とした環境DNA観測網「ANEMONE」は、全国の大学や国立研究所、行政機関、地域コミュニティや企業との連携のもと、「誰でも貢献できる生物多様性観測」を継続、拡大している。
- ② 環境DNA観測オープンデータのデータベースANEMONE DBが2022年6月に公開され、世界初の環境DNAデータベースの運用を開始、マスコミ等で大きく取り上げられた
- ③ 環境DNA技術を基盤にネイチャーポジティブ実現を目指す産官学のANEMONEコンソーシアム（任意団体）を2022年6月に設立、参画機関は企業・自治体・大学等30を超え、複数の部会を軸として活動が進められている。
- ⑤ JST COI-NEXTにて東北大学を代表とする「ネイチャーポジティブ成長実現拠点」が共創分野（育成型）に採択され、2014年度からの本格型採択を目指しビジョン作り込みを進めている。大学、自治体、企業、NPO法人等の参画を得て、具体的な社会課題解決に取り組みつつ東北大をコアとしたチームビルディングを進めている（https://anemone.bio/consortium_ja/）。

